

令和7年第3回木津川市議会定例会 開会あいさつ

皆様、おはようございます。

本日ここに、令和7年第3回木津川市議会定例会をお願いいたしましたところ、議員の皆様には何かとご多用のところ、ご出席を賜りまして、厚くお礼申し上げます。

それでは、本定例会冒頭の大変貴重なお時間をいただきまして、市政の状況などにつきまして、ご報告させていただきます。

まず、木津川市市民まつり2025の開催についてであります。

今月2日 土曜日に開催し、木津川河川敷から約1,000発の花火が夏の夜空を彩ったところです。

今年は初の取組として、ゆっくりと、そして花火を間近から楽しんでもらえるよう木津川河川敷の木津グラウンドにおいて有料観覧席を設置し、市にご寄附をいただいた方を初め約400人の方々にご覧いただきました。

また、当日は市内各地で約5万5千人の方に市民まつりをお楽しみいただくことができたところです。

ひとえに、関係各位の皆様のご協力の賜物と深く感謝をいたしているところでございます。

次に、積水ハウス株式会社様の大型体験型施設の開業についてであります。

今月5日に、積水ハウス株式会社様が大型体験型施設「ジュノパーク」を開業され、私もセレモニーに出席させていただきました。

セレモニーでは、「夢中が芽生える」という施設のコンセプトに沿って、「ジュノパークオープン」の掛け声の後、カラフルな葉っぱ型の模型の紙吹雪を降らせるリーフシャワーなど盛大に開幕されました。

その後、施設見学会も実施され、私もタブレット端末を使った部屋のリフォームや穴の開いたボールと棒で揺れに強いタワーを作る体験など、建築のノウハウを楽しく学べる施設を見学させていただきました。

本市といたしましては、こういった施設を開設いただくことは子供たちが好奇心を育み、健やかな成長につながるものであり、大変ありがたく感じております。

次に、「中学生海外派遣事業」についてであります。

今月13日から21日までの9日間の日程で、アメリカサンタモニカ市への派遣が実施され、派遣生たち10名は14日にサンタモニカ市庁舎にて先方の市長への表敬訪問、15日には、ジョン・アダムス・ミドル スクールで授業に参加し、その後、ホストファミリー宅でのホームステイなどを体験されました。

帰国後の26日に行われた報告会では、派遣生が「言語が違う環境でもジェスチャーなども使って、自分から伝えようとする積極性の大切さに気がつくこと

ができた。」などの感想を述べられ、出発前に比べて一人ひとりが自分の思いをしっかりと伝えることができるようになっていっていると伺っております。

アメリカの文化や、歴史、自然、生活習慣を知る貴重な経験をしてこられた派遣生の皆様が、今後、さらに国際化が進む社会の中でご活躍されることを期待しております。

次に、恭仁宮ハックの開催についてであります。

国の特別史跡への昇格を目指している恭仁宮跡の周辺を歩きながら、歴史や現状について学び、史跡周辺の将来を展望し、それぞれの施設を使って「やってみたい」を探す恭仁宮ハックが、今月9日土曜日から開催されました。

第1回目の9日は、16名の方が参加され、恭仁宮跡の周辺を見学した後、意見交換が行われたところです。

今後は、9月から10月にかけてアイデア出しやトライアルの準備を行い、11月2日及び3日に開催を予定しております「恭仁京 FESTA 2025」においてそれぞれの「やってみたい」を実際にやってみる予定としています。

最後になりましたが、お手元にお届けいたしております、同意22件、認定11件、議案9件、報告6件につきましては、後ほどご説明をさせていただきますので、よろしくご審議をいただきご議決賜りますよう、お願いを申し上げまして、誠に簡単ではございますが、開会にあたりましてのご挨拶とさせていただきます。

どうぞよろしくお願い申し上げます。